

## 平成 28 年度事業報告

少子高齢化に伴う疾病構造の変化や社会構造の複雑化等に対応し、県民一人ひとりが心身共に健康で、実り豊かで満足できる生涯づくりを目指す健康への取り組みにおいて、その一次予防を担っている当会の使命はますます重要なものとなっている。

当会は設立 76 年に及ぶ事業実績を基盤として、県民の健康増進に一層寄与できるよう、結核（感染症）をはじめとする呼吸器疾患や生活習慣病等の予防の為に健康診断、早期発見のための普及啓発など、法人の目的達成の為に、総合的、計画的に事業を展開した。

健診事業については、県民の健康管理及び健康増進を目指し、結核を中心とする疾病の予防を図るため、感染症法、学校保健安全法、健康増進法、労働安全衛生法及び高齢者の医療の確保に関する法律などに基づき、事業所従業員、地域住民及び児童・生徒等を対象に、定期健康診断の他、生活習慣予防健診、特定健診などを、検診車による巡回健康診断や診療所所内健診として、県内の市町、事業所及び学校他を対象に総合的に実施した。

また、平成 28 年 1 月に、日本宝くじ協会助成事業により、デジタル胸部検診車（1 台）が導入となり、県内各地にて巡回検診を展開した。

普及啓発事業については、県内行政機関、静岡県結核予防婦人会等との連携のもとに、結核予防週間及び複十字シール運動等の啓発キャンペーン事業を展開するほか、広報誌「結核しずおか」作成や、結核予防に関する各種機関誌、ポスター、パンフレット等の関係機関への配布並びに出版物の頒布及びパネルの貸出し、各種講演会、研修会等の開催参画などを通して、結核予防思想の普及啓発に努めた。

これらの業務運営・執行に当り、事業活動支出の点検・節約、各種検診事業の拡大への取り組みなどを踏まえた予算管理による収益率の向上を目指した。また、職員提案制度を活用し新しい意見を取入れ検討するほか、管理職による経営管理会議を実施し、各種事業の進捗状況及び経営課題を定期的に精査し、課題の解決策や効率的な事業推進方策を検討するなど、公益財団法人としての健診を含めた事業の安定性と将来性を見据え、職員一体となった業務の効率化と組織体制の強化に取り組んだ。

## I 健康診断事業の実施

結核を中心とする呼吸器疾患及び生活習慣病予防のため健康診断事業として、県内各地を胸部検診車・胃部検診車・乳がん検診車・子宮頸がん検診車で巡回し、県民の健康を維持する活動を行った。

区分を住民検診、学校検診、事業所検診、施設・接触者検診に分類し健康診断事業に取り組んでいる。

### 1 住民検診

住民検診は、感染症法・健康増進法・高齢者の医療の確保に関する法律や、「がん検診推進事業」「がん検診受診勧奨事業」により実施される検診を1人でも多くの方に受診していただくため、受診しやすい環境を作ると同時に、市町の担当者や静岡県結核予防婦人会の協力を得て受診勧奨を行い早期発見・早期治療に努めた。

区 分		28年度実績 (人)	27年度実績 (人)	対前年度比 (%)
住民検診	胸部検診	77,292	75,434	102.5
	肺がん喀痰細胞診検査	2,424	2,403	100.9
	胃がん検診	5,591	5,015	111.5
	乳がん検診	6,207	6,333	98.0
	子宮頸がん検診	3,009	3,394	88.7
	大腸がん検診	6,335	5,995	105.7
	骨粗しょう症検診	1,084	1,295	83.7
	特定健診	904	944	95.8
計		102,846	100,813	102.0

## 2 学校検診

学校検診は、学校保健安全法により実施される検診で、県内の公・私立高等学校・特別支援学校・大学・専門学校・小・中学校の検診を行った。

区 分		28年度実績 (人)	27年度実績 (人)	対前年度比 (%)
学校検診	胸部検診	48,000	46,206	103.9
	胃がん検診	236	277	85.2
	総合健診	9,463	9,223	102.6
計		57,699	55,706	103.6

## 3 事業所検診

事業所検診は、労働安全衛生法により実施される健診で、県内の事業所の定期健康診断・特殊健診を行う。さらに、健康保険法により実施される生活習慣病予防健診や、高齢者の医療の確保に関する法律により実施される特定健診も行った。また、がん検診（肺がん・胃がん・乳がん・子宮頸がん・大腸がん・前立腺がん）も同時受診を実施し、早期発見・早期治療に努めた。

区 分		28年度実績 (人)	27年度実績 (人)	対前年度比 (%)
事業所検診	胸部検診	40,721	43,367	93.9
	胃がん検診	6,215	6,197	100.3
	乳がん検診	1,837	1,839	99.9
	子宮頸がん検診	231	200	115.5
	総合健診	9,755	8,865	110.0
計		58,759	60,468	97.2

#### 4 施設・接触者検診

施設検診は、リフト付き胸部検診車やポータブル撮影機器を使用し、感染症法により施設の入所者（利用者）を対象に実施される検診と、労働安全衛生法により従業員を対象に実施される健診を行った。

接触者検診は、感染症法により実施される検診で、県・政令市と協力して行った。

区 分		28年度実績 (人)	27年度実績 (人)	対前年度比 (%)
施設検診	胸部検診	2,690	2,642	101.8
	胃がん検診	701	736	95.2
	総合健診	708	615	115.1
接触者検診	結核検診（直接撮影）	503	581	86.6
計		4,602	4,574	100.6

合 計 (1+2+3+4)	223,906	221,561	101.1
---------------	---------	---------	-------

#### 5 各検診結果の集計及び統計処理

独自のシステムの運用により、各検診結果の集計及び統計処理を行い、業務の効率化や精度管理に努めた。

## II 普及啓発事業

### 1 結核予防週間

(1) 期 間 平成28年9月24日（土）～30日（金）

(2) 啓発内容

#### ① 結核予防キャンペーンの実施

ア 開催日 平成28年9月24日（土）

イ 場 所 アピタ静岡店

ウ 実施内容

静岡市、静岡県結核予防婦人会及び静岡県と協力して、結核予防啓発リーフレット・啓発資料を配布するなど結核予防を呼び掛けた。

② ポスターの配布及び掲示による広報

ア 結核予防等の正しい知識と対策が広く県民に浸透するよう、ポスターの掲示・資料の配布を県・市町に依頼した。

イ バスや電車内でのポスター掲示により結核予防を呼び掛けた。

③ 県内各地での結核予防キャンペーン

静岡県結核予防婦人会各支部の協力を得て、県内各地に出向いて結核予防のパンフレット、ポケットティッシュ等の配布や複十字シール運動街頭キャンペーンを実施するなど、結核予防思想の普及啓発に努めた。

④ 報道機関等を通しての広報

結核予防週間キャンペーン等の実施案内を報道機関へ資料提供した。

2 普及啓発資料の作成、配布

(1) 広報誌「結核しずおか」の発行

年2回発行し、県民の健康増進に寄与することを目的に関係機関のご協力をいただき、結核予防を題材にした知識の普及啓発及び当会の検診事業の紹介について掲載した。

県、市町、病院等関係機関、事業所、複十字シール運動協力者等への配布を目的に3,000部を発行した。

(2) 啓発カレンダーの作成、配布

県、市町及び関係機関に配布した。

(3) 結核予防週間ポスター及びパンフレット(公益財団法人結核予防会作成)を県、市町に配布した。

(4) 「複十字」(公益財団法人結核予防会作成)、「健康の輪」(全国結核予防婦人団体連絡協議会作成)の冊子を県、市町及び関係機関に配布した。

(5) 結核予防・啓発用パネル等の貸出し

県、市町及び医療関係機関等に無償で貸出した。

3 県、市町、各種団体が行う健康まつり等への参加

県、市町、関係団体の各種行事に参加し、結核、肺がんに加えて、胃がん、乳がん等のパネル等を展示、啓発資料を配布、検診を実施するなど受診勧奨に努めた。

(1) 平成28年5月8日(日)母の日キャンペーン(静岡市)

(2) 平成28年6月18日(土)おやま健康フェスタ(小山町)

(3) 平成28年9月18日(日)ゆらら健康まつり(静岡市)

(4) 平成28年10月16日(日)ジャパンマンモサンデー(静岡市)

(5) 平成28年10月29日(土)伊豆市社会福祉大会(伊豆市)

(6) 平成28年11月23日(水)清水テルサ健康まつり(静岡市)

#### 4 報道機関等への情報提供

結核予防関係の主要行事、結核予防関係資料等ニュース素材を報道機関に提供、広報活動の充実に努めた。

#### 5 ホームページでの情報公開

当会は、公正で開かれた活動を推進及び結核を中心とする疾病の予防思想を普及するため、活動状況、運営内容、財務資料等を積極的に公開した。

#### 6 講演会の開催

平成 29 年 1 月 18 日（水）に、県、市町の行政担当者や保健師等が健康増進の正しい知識を県民に広めることを目的に、公益財団法人結核予防会、複十字病院の医長を講師に招き、「増え続ける非結核性抗酸菌症の話題と課題」の講演を開催した。

#### 7 表彰

県内各地域の結核予防事業の一層の推進を目的に、結核予防功労者(個人)及び結核予防対策推進優良市町(団体)の表彰のため、県内各保健所長へ推薦を依頼した。なお、平成 28 年度は該当者なしであった。

#### 8 複十字シール運動

結核予防の普及啓発活動、発展途上国への結核対策支援等の財源を得るために、公益財団法人結核予防会が主催する複十字シールを媒体とした全国一斉の募金活動に協力した。静岡県、市町、静岡県結核予防婦人会と連携し、マスメディア等の媒体を通して結核予防思想の普及啓発に努めた。当会は、設立以来 70 年以上にわたり、県民を対象に募金活動を実施している。

(1) 募金実績額 7,558 千円（組織募金 6,048 千円 郵送募金 1,510 千円）

(2) 運動期間 平成 28 年 8 月 1 日から 12 月末日まで

##### (3) 運動方法

###### ① 組織募金

従来どおり、静岡県結核予防婦人会の各支部に対して、それぞれの実情に即した方法で募金活動を実施した。また、募金活動資金として募金額により定めた額を還元した。

###### ② 郵送募金

郵送により個人、寺院、神社、事業所、各種団体に募金をお願いした。

③ その他

募金箱の年間設置をお願いした。また、秩父宮記念公園や静岡市ふれあい健康増進館ゆららなどにおいて、イベントに合わせて普及啓発活動を行った。

- ア 秩父宮記念公園 (御殿場市)
- イ 富士山こどもの国 (富士市)
- ウ 静岡市ふれあい健康増進館ゆらら (静岡市)

9 予防資材取扱事業

公益財団法人結核予防会が出版している一般向けのパンフレットや医師、保健師、看護師、行政事務職向けの専門書を販売し、結核に関する知識の普及啓発に努めた。また、研修会や会議等で広く出版案内を行った。

### Ⅲ 関係機関との連携

結核予防活動を行っている静岡県結核予防婦人会の次の事業に対し、全面的に協力、支援を行った。

- ① 静岡県結核予防婦人会総会、会議等
- ② 結核予防リーダー研修会
- ③ 結核予防婦人団体中央講習会

### Ⅳ 施設、設備の整備

胸部検診車のシール9号及びけいりん720号の2台のアナログ撮影機器をデジタル撮影機器にませ換えを行った。なお、整備に係る支払については割賦契約とした。

### Ⅴ 諸会議等の開催

1 理事会・評議員会

理事会・評議員会は、事業計画、予算、決算等、定款に基づく事項を審議し、議決又は承認された。

2 経営管理会議等

各種事業の推進状況及び経営状態の現状を把握精査し、新規事業の開拓や効率的な事業推進方策を検討し、安定した運営に資するため、当会の課長で構成する経営管理会議等を定期的で開催した。

### 3 ブロック会議、連絡会議

- (1) 平成 28 年度東海北陸ブロック会議(愛知県で開催)へ出席
- (2) 平成 28 年度結核予防会全国支部事務連絡会議(東京都で開催)へ出席

### 4 結核予防全国大会

平成 28 年度については開催県(北海道)の都合により、平成 29 年 5 月 18 日(木)・19 日(金)に開催される予定である。

### 5 職員の研修

- (1) 公益財団法人結核予防会主催の研修会へ参加
  - ① 公益財団法人結核研究所が行う各種研修及びセミナーへ参加
  - ② 結核予防会事業協議会研修会へ参加
- (2) 学会、各種団体主催の研修会、講習会へ参加
  - ① 学会、各種団体が行う研修会、講習会に積極的に参加し、知識、精度並びに技術の向上等を図った。(胸部画像精度管理研究会、静岡県放射線技師学術大会及び講演会等)
  - ② 業務に必要な資格取得の講習会に参加した。
- (3) 静岡県結核予防婦人会主催の研修会支援  
静岡県結核予防リーダー研修会(静岡県からの委託事業)の後援を行い職員も研修会に参加した。

## VI 公益財団法人としての運営

新制度の下、自己責任運営が求められ、ガバナンス、法令、定款、諸規程の遵守、加えて透明性の高い経営を心掛けるということが基本的な心構えとして要請されており、公益財団法人としての使命を果たし県民から大きな信頼を得る法人の運営に努めた。